

空気調和設備及び給排水設備等 計画書

1 空気調和設備等

(1) 空気調和設備・機械換気設備の概要

管 理 方 式	中央空調 ・ 中央換気 ・ 個別空調 ・ 個別換気
制 御 範 囲	全体制御 ・ ゾーン制御 ・ 個別制御
空 気 調 和 機 の 種 類	エアハン ・ ファンコイル ・ ビルマルチ ・ 誘引ユニット ・ パッケージ ・ 他 ()

(2) 空気調和設備の内容

ア 自動制御装置等

要 領

自 動 制 御 センサ	温 度	有 (設置場所:) ・ 無	1-2- 3, 1-7
	湿 度	有 (設置場所:) ・ 無	
	二酸化炭素	有 (設置場所:) ・ 無	
風 量 測 定 孔	有 (設置位置:) ・ 無	1-2-4	
全 熱 交 換 器	有 (型式:) ・ 無	1-5	
風 道 の 点 検 口	有 (設置位置:) ・ 無	1-2-7	

イ 居室の換気等

居室の主たる 換 気 方 法	強制給排気 (1種) ・ 強制給気 (2種) ・ 強制排気 (3種) ・ その他
-------------------	--

以下については、室内ユニットを除く設備について記載し、設置基数が多い場合は、別紙に記載して下さい。

ウ 冷暖房熱源・冷却塔

		系統 I	系統 II	系統 III	要領
冷 房 熱 源	機 器 種 類				/
	冷 房 能 力	kW	kW	kW	
暖 房 熱 源	機 器 種 類				/
	暖 房 能 力	kW	kW	kW	
冷 却 塔	種 類	開放式 (直交流・向流) ・ 密閉式	開放式 (直交流・向流) ・ 密閉式	開放式 (直交流・向流) ・ 密閉式	1-6-3
	設 置 場 所				1-6-1
	点検清掃スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	1-6-2
	使 用 水	水道水 ・ その他 ()	水道水 ・ その他 ()	水道水 ・ その他 ()	1-6-4

エ 空気調和機及び関連設備等（空気調和を以下「空調」という）
 （設置基数が多い場合は、別紙に記載して下さい。）

		系統 I	系統 II	系統 III	要領			
【空調機】								
型 式								
対象用途と階数								
冷房能力		kW	kW	kW				
暖房能力		kW	kW	kW				
対象床面積（気積）		m ² （ m ³ ）	m ² （ m ³ ）	m ² （ m ³ ）				
対象人員		人	人	人				
点検清掃スヘース		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	1-2-1			
【空調設計条件】※二酸化炭素濃度、浮遊粉じん濃度、必要加湿量の計算書を添付してください。								
温 湿 度	冷 房 期	外気	℃	%	外気	℃	%	1-4-1
		室内	℃	%	室内	℃	%	
	暖 房 期	外気	℃	%	外気	℃	%	
		室内	℃	%	室内	℃	%	
二 酸 化 炭 素		ppm		ppm		ppm	1-1-1	
浮 遊 粉 じ ん		mg/ m ³		mg/ m ³		mg/ m ³	1-3-1	
【給気】								
給 気 量		m ³ /h		m ³ /h		m ³ /h	1-3-1	
外 気 取 入 量		m ³ /h		m ³ /h		m ³ /h		
一人当外気取入量		m ³ /h・人		m ³ /h・人		m ³ /h・人		
換 気 回 数		回/h		回/h		回/h		
【外気取入口】								
高 さ		m		m		m	1-1-2	
位 置								
付 近 の 汚 染 源		有（ ） ・ 無		有（ ） ・ 無		有（ ） ・ 無		
汚 染 源 からの 距 離		m		m		m		
【除じん機】								
フ ィ ル タ 種 類							1-3-1	
適 応 粉 じ ん 粒 径		μ m		μ m		μ m	1-3-1	
除 じ ん 効 率 と 方 式		% (法)		% (法)		% (法)	1-3-2	
点検清掃スヘース		有 ・ 無		有 ・ 無		有 ・ 無		
【加湿器】								
加 湿 方 法		式		式		式		
加 湿 能 力		kg/h		kg/h		kg/h		
点検清掃スヘース		有 ・ 無		有 ・ 無		有 ・ 無		
使 用 水		水道水・ その他（ ）		水道水・ その他（ ）		水道水・ その他（ ）		

2 給水設備

(1) 貯水槽

ア 給水設備の概要

水源の種類別	上水〔上水道・簡易専用水道・小規模貯水槽水道・専用水道(受水)・専用水道(自己水)・特設水道〕・井戸水・他()		
給水方法	直圧・貯水槽・加圧ポンプ・他()		
貯水槽の数	受水槽 基	高置水槽 基	その他() 基
設計使用水量	一日最大 m ³		

イ 飲料水設備 (設置基数が多い場合は、別紙に記載して下さい。)

	受水槽 I	受水槽 II	高置水槽	要 領
【槽の状況】				
有効容量	m ³	m ³	m ³	2-1-1
槽の材質	FRP・他()	FRP・他()	FRP・他()	2-1-1
底部の勾配 (吸込ピット等を設け、完全に水抜きできる構造とする)	有・無	有・無	有・無	2-1-5
貯水槽内の構造	槽式	槽式	槽式	2-1-17
停滞水防止構造	有・無	有・無	有・無	2-1-6
貯水槽の天井 (適度な勾配、マンホール面は10cm以上の衛生的立ち上げ)	有・無	有・無	有・無	2-1-3
マンホールの大きさ等 (直径60cm以上、防水型・鍵付、屋外設置でFRP製であれば二重ふた)	適・不適	適・不適	適・不適	2-1-4
【配管の状況】				
オーバーフロー管	有(φ)・無	有(φ)・無	有(φ)・無	2-1-8
防虫網	有・無	有・無	有・無	2-1-9
吐水口空間距離	mm	mm	mm	2-1-7
水 抜 管	有・無	有・無	有・無	2-1-5
排水口空間距離	mm	mm	mm	2-1-8
通気管	有 無	有・無	有・無	2-1-9
	防虫網	有・無	有・無	
【設置状況】				
設置場所				2-1-11
防護設備	有・無	有・無	有・無	2-1-15, 16

ウ その他の設備		要 領
満減水警報装置	有 ・ 無	2-1-20
消 毒 設 備	有 (型式： 、使用薬品：) ・ 無	

(2) 給湯設備

ア 給湯設備の概要

給湯方式と熱源	中央式 (貯湯 ・ 循環) ・ 局所式 (貯湯 ・ 瞬間) ・ 他 ()
---------	--

「中央式」の場合、以下の項目に記入してください。

給湯の容量	m ³ × 基	
給湯の使用用途		3-1-1
貯湯槽の設置場所		3-2-1, 10
膨張水槽の設置場所		3-2-9
給湯管の材質		3-2-5
逃し管の開放位置		3-2-7

3 雑用水設備

(1) 雑用水設備の概要

		要 領
使用する原水	再生水・井戸水・雨水・工業用水・他()	4-1-1
使用目的	散水・修景・清掃用水・便器洗浄水・他()	
必要水量	一日最大 m^3	4-2-5
検水栓	有(設置場所:)・無	

※ 雑用水を用いる便器には、手洗い付きの洗浄用タンクを使用しない。また、温水洗浄式便座を使用する場合は、洗浄装置には上水を使用する。

(2) 雑用水道貯水槽及び消毒設備等

	雑用水槽 I	雑用水槽 II	
設置場所			4-2-1
材質			
槽の容量	m^3	m^3	
消毒処理設備	有(型式: 、使用薬品:)・無		4-2-1
ろ過設備	有・無		
補給水設備	有(上水・他())・無		4-2-2

(3) 再生処理設備及び消毒設備等

処理の方法	砂ろ過・生物学的処理(活性汚泥法・接触ばっ気法・生物ろ床法・膜分離活性汚泥法)・物理化学的処理・他()	4-1-1
能力	$m^3/日$	
消毒処理設備	有(型式: 、使用薬品:)・無	4-2-1
設置場所		4-2-6
専用の換気設備	有・無	4-2-6

(4) 誤飲防止、配管の識別

給水栓の誤飲 誤使用防止措置	有・無	4-2-3
配管の識別方法	有・無	4-2-4

4 排水設備

(1) 排水設備の概要

				要 領
排水槽の数	汚水槽 基	雑排水槽 基	湧水槽 基	5-1-1
排水流入量の設計値	一日最大 m^3			5-1-2
排水の処理方法	下水道 ・ 浄化槽 ・ 他 ()			

(2) 排水設備の内容 (設置基数が多い場合は、別紙に記載して下さい。)

使用用途 (汚水槽、雑排水槽、湧水槽の別に記入)	排水槽Ⅰ ()	排水槽Ⅱ ()	排水槽Ⅲ ()	排水槽Ⅳ ()	
【槽の状況】					
設置場所					
排水槽の構造 (内部の不浸透性、底部の吸込みピット、底部の勾配、入隅部のR取り(ハンチ)、通気管と耐食性の防虫網等)	適 ・ 不適	適 ・ 不適	適 ・ 不適	適 ・ 不適	5-1-3
マンホールの大きさ等 (直径60cm以上、防臭型、各槽ごとに2か所設ける)	適 ・ 不適	適 ・ 不適	適 ・ 不適	適 ・ 不適	
槽の容量	m^3	m^3	m^3	m^3	
計画排水流入量	一日最大 m^3	一日最大 m^3	一日最大 m^3	一日最大 m^3	5-1-2
【その他の設備】					
排水ポンプの台数	台	台	台	台	5-2-1
満水警報装置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	5-2-5

(3) 排水関連設備

【排水管】			
点検口・掃除口	有・無		5-3-2
排水トラップ	有・無	有・無	5-4-1, 2
	容易に清掃等	可・不可	
	通気管	有・無	5-5-1
排水ます	有・無	有・無	5-7-1
	容易に清掃	可・不可	
【阻集器】			
阻集器	有・無	有・無	5-6-1
	分離性能	有・無	5-6-2, 3
	容易に清掃、点検	可・不可	
【浄化槽】			
保守点検が容易な設置場所	有・無		5-9-2

5 清掃、廃棄物・再利用物保管場所

(1) 清掃

			要 領
清掃従事者等の	休憩室	有 (階 m ²) ・ 無	6-1-1
	更衣室	有 (階 m ²) ・ 無	
専用の資機材倉庫	有 (階 m ²) ・ 無	6-1-2	
清掃作業用の	給排水設備	有 (階) ・ 無	6-1-3
	電気設備	有 (階) ・ 無	6-1-4
窓ガラスの清掃設備(ゴンドラ等)	有・無	6-1-5	

(2) 廃棄物・再利用物保管場所

ア 廃棄物・再利用物保管等の概要

廃棄物・再利用物保管の場所		6-2-1, 2
厨芥類用の保管設備	有(冷蔵・冷房・低温保管・他())・無	6-2-3

イ 廃棄物・再利用物保管施設

廃棄物の種類	可燃性ゴミ	厨芥類	不燃性ゴミ	再利用物	
排出量の設計値	kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	
【保管場所】					
面積	m ²	m ²	m ²	m ²	6-2-1
密閉区画	有・無	有・無	有・無	有・無	6-2-3
床と壁の材質	床				
	壁				
床排水の勾配	有・無	有・無	有・無	有・無	
給排水設備	有・無	有・無	有・無	有・無	
給排気設備	有・無	有・無	有・無	有・無	
照明設備	有・無	有・無	有・無	有・無	
防そ防虫構造	有・無	有・無	有・無	有・無	

6 防虫・防ぞ構造

建物の全般的な防虫対策	窓、通風口、出入口、排水設備等は建築物内部に衛生害虫が侵入しないような構造とする	
	適・不適	7-1-1
建物の全般的な防ぞ対策	配管等の貫通部分、ドア等出入口、排気口、排水口等は建築物内部にねずみが侵入しないような構造とする	
	適・不適	7-2

7 化学物質対策

ホルムアルデヒド対策	設計時における室内空気中のホルムアルデヒド濃度が指針値以下になるような放散量の少ない建材、什器等を選定する	
	適・不適	8-1-1
	施工時における室内ホルムアルデヒド濃度の低減を図るため換気による放散対策を講じる	
	適・不適	8-1-2

8 その他の審査事項

(1) 結露防止等

要 領

結露防止等対策	有（断熱工法・結露受け・他（ ））・無	10-1-1, 2
---------	---------------------	-----------

(2) 管理人室等

専用の管理人室等	有（ 階 m ² ）・無	10-2-1
管理用資材置き場等	有（ 階 m ² ）・無	10-2-2

9 特定建築物の概要

階数	床面積	居室数	特定用途及び面積		特定用途以外の用途及び面積	
	m ²			m ²		m ²
	m ²			m ²		m ²
	m ²			m ²		m ²
	m ²			m ²		m ²
	m ²			m ²		m ²
計	延べ m ²			延べ m ²		延べ m ²

設計図書の添付（添付の図書について「○」を記入）

建築一般図書	配置図		平面図		立面図		断面図	
空調設計図書	系統図		平面図		機械リスト（仕様書）			
給排水設備設計図書	系統図		平面図		機械リスト（仕様書）			
雑用水設備設計図書								
廃棄物保管場所設計図書								
給水量計算書等関係書類								
空気環境に関する計算書	二酸化炭素		浮遊粉じん		加湿量			

- ※1 建築一般図書の平面図等に、清掃用具、廃棄物・再利用物保管場所を記載すること。
- ※2 空調設計図書は、外気、排気、給気、還気の導線について、図面を分ける、または色分けするなどして表示することが望ましい。
- ※3 給水系統排水系統に、給水、排水の導線について、図面を分ける、または色分けするなどして表示することが望ましい。
- ※4 雑用水設備に、給水、排水の導線について、図面を分ける、または色分けするなどして表示することが望ましい。

連絡先

会社名	
氏名	
連絡先	TEL
	メール